

都市再生整備計画 事後評価シート
六美地区

平成24年3月

栃木県壬生町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	壬生町	地区名	六美地区			面積	260ha
交付期間	平成19年～平成23年	事後評価実施時期	平成23年	交付対象事業費	1,159.6百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路(町道二級59号、町道2-327号、町道2-341号、町道2-612号、町道2-332号、町道2-333号、町道2-334号)、公営住宅等整備(町営ひばりヶ丘住宅集会場)						
	提案事業		事業活用調査(交通安全意識調査)、まちづくり活動推進事業(六美地区まちづくり活動推進事業)						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(町道2-335号、町道2-318号、町道2-317号、町道2-328号、町道2-331号、町道2-561号、町道2-319号、町道2-324号、町道2-314号、町道2-316号、町道2-325号、町道2-326号、町道2-393号、町道2-538号)、地域生活基盤施設(地区内公共施設案内板)	一部は大雨時の道路冠水箇所の解消に目的を絞ったため削除。一部は第二期計画で実施することとしたため削除。			削除事業は目標1に影響があるが、冠水路線ではないため、目標・指標は据え置く。		
		提案事業	地域創造支援事業(雨水排水管整備事業)	基幹事業の道路に組み入れたため削除。			影響軽微		
新たに追加した事業	基幹事業	道路(町道2-700号)	流末排水路として追加。			影響軽微			
	提案事業	なし							
交付期間の変更	当初	平成19年～平成23年	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	道路冠水面積	m2	49,400	H18	23,300	H23		23,300	○	あり なし	冠水箇所の道路整備により、道路冠水が解消された。	平成24年4月頃
指標2	交通安全対策満足度	%	35	H18	60	H23		63	○	あり なし	通過交通の多い町道二級59号の拡幅歩道整備等により、交通安全の向上が図られた。	平成24年5月頃
指標3	児童館利用者数	人	16,000	H17	17,600	H23		10,000	×	あり なし ●	当該指標の母体となる児童数が少子高齢化により汎社会的に減少している。	平成24年4月頃

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	道路冠水解消により円滑かつ安全な通行が可能となった歩行者自転車数	人/昼間	0	H18				102			道路排水施設整備により該箇所の冠水が解消され、歩行者や自転車が円滑かつ安全に通行できるようになった。	平成24年4月頃
その他の数値指標2	災害時における町営ひばりヶ丘住宅集会場の避難受入れ可能人数	人	0	H18				24			町営ひばりヶ丘住宅の集会場整備により、災害時に一時避難所としても利用できるようになった。	-

4) 定性的な効果発現状況
 ・道路利用者からは、とても通りやすくなって、また雨水も溜まらなくなって快適だという意見が寄せられた。
 ・生活道路の道路冠水や、通過交通の多いアクセス道路の交通安全対策については、地元において最も関心のある課題の一つであることから、自治会の枠を超えて、活発な議論がなされ、自治会活動の発展に繋がった。

5) 実施過程の評価		実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	・第1回計画変更時において、住民説明会を開催し、計画変更の妥当性を確認した。 ・事後評価に係る各種データの確認等を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	実施結果により、実施事業と設定指標との整合性を再確認する。	
	住民参加プロセス	・地元を中心とした防犯対策を策定し、町の支援が必要な事項について助成。 ・道路事業等の整備において説明会や工事実施時の現場立会説明などで自治会や地権者等と連絡調整を図りながら、可能な範囲で要望に沿った整備を進めた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	・第二期計画において、地区内関係自治会と連絡調整を図りながら、防犯灯等安全対策施設の設置箇所等の検討を行う。	
	持続的なまちづくり体制の構築	・地区内3自治会において新たな組織を発足し地区の発展、活性化についての推進力を高める。 (新組織の構築までは至らなかったが、3自治会が共同で要望書を作成したり、地元説明会の開催などを行い、地区整備の運営に連携して関わって頂いた。)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	第二期計画においても地区内自治会として連携して事業運営に関わって頂く。	

様式2-2 地区の概要

六美地区(栃木県壬生町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
・生活道路の雨水排水路整備により、生活環境を改善し暮らしやすいまちづくりを推進する。 ・アクセス道路の整備により、通過交通車両から歩行者の安全の確保を図り地域特性と調和のとれた道路整備を推進する。	道路冠水面積	単位: m ² 49,400 H18	23,300 H23	23,300 H23
	交通安全対策満足度	単位: % 35 H18	60 H23	63 H23
	児童館利用者数	単位: 人 16,000 H17	17,600 H23	10,000 H23
	道路冠水解消により円滑かつ安全な通行が可能となった歩行者自転車数	単位: 人/屋間 0 H18		102 H23
	災害時における町営ひばりヶ丘住宅集会場の避難受入れ可能人数	単位: 人 0 H18		24 H23

町道2-333号整備前後





下野市

町営ひばりヶ丘住宅集会場整備前後



凡例

- 基幹事業: 道路 (※ 拡幅、歩道設置、道路排水施設整備)
- 基幹事業: 公共住宅等整備 (※ 集会場整備、※ 火災報知機設置)
- 基幹事業: 地域生活基盤施設 (※ 案内板設置)
- 提案事業: 地域創造支援事業 (防犯対策施設設置事業) (※ 防犯等設置)
- 提案事業: 事業活用調査 (※ 交通安全意識調査)
- 提案事業: まちづくり活動推進事業 (六美地区まちづくり活動推進事業)

【凡例(施設着色)】

- 道路(拡幅、歩道設置、道路排水施設整備)
- 道路(排水施設整備)
- 集会場
- 案内板
- 防犯灯 (屋内設置個所は別)

まちの課題の変化

- ・二期計画に順延された路線もあるが、整備路線は道路冠水が解消され、大雨時の通行が可能となり、暮らしやすいまちづくりが推進された。
- ・下野市とのアクセス道路である町道二級59号及び町道2-327号において、町道2-327号は二期計画に順延されたが、拡幅歩道整備を行った二級町道59号は交通安全の向上が図られ利用者の満足度向上につながった。また、セミワット歩道整備により、地区特性と調和し交通弱者に配慮した整備がなされた。
- ・課題解消に各自治会が真剣に取り組んでおり、自治会内でも活発な議論がなされた。また、そのバックアップを受けて事業も推進された。
- ・児童館へのアクセス道路である町道2-327号は二期計画に順延され、また、少子高齢化により、児童館利用者数は年々現象傾向にあり、指標3の達成が現時点では不可能である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・今回整備された道路などの機能維持を図るため、地元の協力を頂きながら、道路清掃活動や美化活動に努める必要がある。
- ・今後の継続的な地区の発展を図るため、地元の連携した自治会活動等が必要であり、整備した集会場や既存コミュニティ施設、福祉施設などを利用して、地区のあり方の議論も含めた自治会会議や各種催しもの等の模索や実施が必要である。
- ・残る冠水箇所の解消やさらなる地区の安全性向上を図るため、平成24年度から第二期計画を実施する予定であり、本計画の事業の進め方における反省点等を踏まえつつ、引き続き関係自治会と連絡調整を図り、かつ協力を頂きながら、地区特性も考慮し、早期に効果が発現できるように、事業を推進する必要がある。
- ・指標に設定した児童館利用者数の増加に寄与するべく、そのアクセス道路である、町道2-327号の早期整備を二期計画において図る必要がある。